

環境部生活環境課

連絡票

開始 平成 16 年 9 月 15 日

終了 平成 16 年 9 月 21 日

市長	助役	部長	次長	課長	係長	専任主査	係員
	欠						
指示事項等					供覧		

件名	エコループプロジェクト事前説明		
日時	平成 16 年 9 月 13 日 (月) 午前 10 時 30 分～11 時 45 分		
場所	逗子市役所図書室		
相手方	環境テクノロジーセンター 田中、(株)エコループセンター 菖浦、阿部	対応者	佐藤環境部長、伊藤環境部次長、 山口生活環境課主幹 (記録者) 山口

内容	<p>エコループプロジェクトについて、環境テクノロジーセンター及び(株)エコループセンターが来庁し説明を受けた。</p> <p><ELC説明要旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村から多く出された意見は次の事項であった。 <ol style="list-style-type: none"> ① 神奈川県で行われている広域処理とエコループを整理してほしい。エコループに対する神奈川県の役割を明確にしてほしい。 ② 有機（生ごみ）の分別をしなければいけないのか。 ③ 中継基地の設備及び設置費用 ・別紙エコループプロジェクトの基本的事項に沿って説明 ・現在、処理料金の概算等事業の採算を検討している。11月頃、参加意向の確認をしたい。 ・中継基地の整備は1日200トン程度が適正でないか。パートナーを組んで設置していただければいいが、なければ単独でもかまわない。設置費用は1日100トンで10億円程度かかる。 ・有機ごみの分別は、有機ごみの水分をパワーセンターに入れずに処理することで、発熱量を高くして発電するためである。 ・中継基地から先の運搬は、エコループセンターが行う。各市町村は運搬車の積み込みまでをお願いする。 ・第1期は平成22年から27年までとなる。ごみ処理量を把握したい。 ・酒匂川流域下水道に処理水を流すことになるが、広域下水道や関係自治体との協議は済んでいる。 ・今年度末まで実施するFS調査は①量の問題、②契約の問題、③担保、継続性の問題、④天災の場合が考えられるが、主に量の問題と天災による施設の停止についてとなる。
----	--